

# 京都ビッグデータ活用プラットフォーム 事業概要 (20190719 改訂ver.)



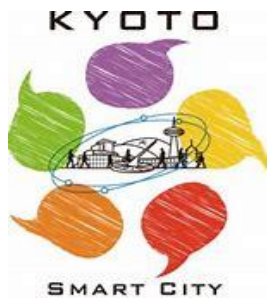
超快適スマート京都を目指して

一般社団法人京都スマートシティ推進協議会

# 京都を、スマートシティ実践・実用化の「先進地」に

## 京都スマートシティ推進協議会

I C T等の最新技術を用いて、都市地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させるとともに、持続的に発展する新たな社会システムとイノベーションを創出し、**人が主役のスマートで安寧な社会の創出**を目指す。



京都の環境をスマートに  
京都のつながりをスマートに  
京都の産業をスマートに

VISION



スマートシティ実現を目指す京都府、企業、大学・研究機関、府民をつなぐ  
**産学公民のオープンイノベーションプラットフォーム**になること

# 京都府のスマートシティ推進スキーム

実装化に向けた資金確保

- ◆ 企業の森・産学の森
- ◆ 国競争的資金

## 社会実装化

ベンチャー育成、アライアンス・新ビジネス・良質雇用の創出

研究会活動(入門)

生産性向上研究会

AI・IoT活用研究会

WG活動(実践)

スマートモビリティWG

<事務局>  
建設交通部  
商工労働観光部  
一社法人

スマートセキュリティWG

<事務局>  
府警本部  
商工労働観光部  
一社法人

スマートアグリWG

<事務局>  
農林水産部  
(国補助7,000万)  
商工労働観光部  
一社法人

スマート観光WG

<事務局>  
商工労働観光部  
一社法人

QOL(生活の質)WG

<事務局>  
一社法人  
健康福祉部  
商工労働観光部

デジタルサイネージ活用WG

<事務局>  
一社法人  
商工労働観光部

スマートパークWG

<事務局>  
一社法人  
商工労働観光部

その他必要に応じて設置

ビジネスマッチング

実証実験支援

共同研究・開発等

## 産学公連携プラットフォーム(京都府AI・IoT活用推進会議)

京都産業21

京都府

AI/IoT予算500万

(一社)京都スマート  
シティ推進協議会

大学・研究機関

雇用プロジェクト  
AI・IoT人材育成

人材活用

## 京都ビッグデータ活用プラットフォーム

<提供メニュー>

- ①異業種企業が集う民間等プラットフォームを活かした **ビジネスマッチング/アライアンス構築支援**
- ②府域等に設置したデジタルサイネージネットワーク等を活用した **実証実験支援**
- ③データ共通基盤を利用した **データ利活用支援**

ベンチャー  
企業を優遇

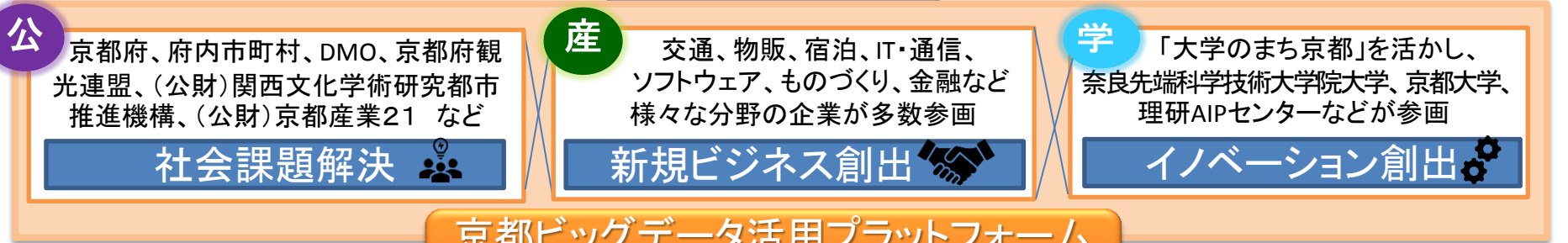
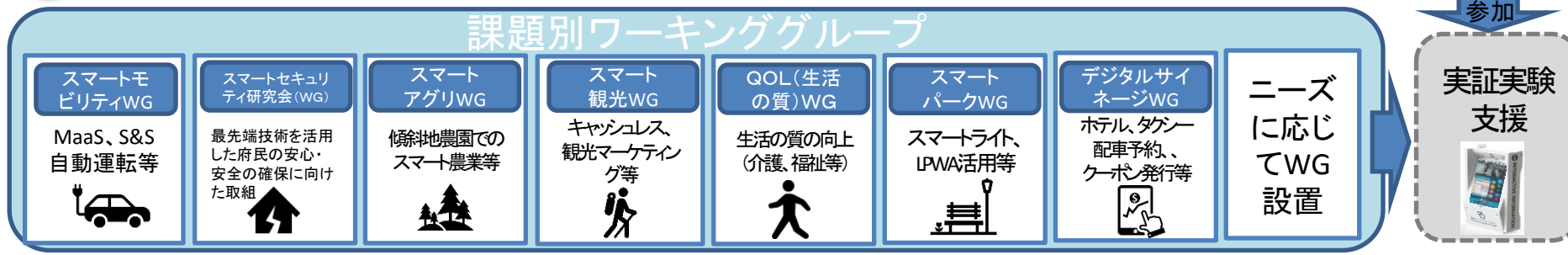
<会費>  
大企業:20万円  
中小企業:10万円  
小規模企業:3万円  
ベンチャー企業:1万円

雇用プロジェクトで育成されたAI・IoT人材等とプラットフォーム参画企業をマッチング

# 京都ビッグデータ活用プラットフォームのイメージ

## 人が主役のスマートで安寧な社会の創出

民 府民・観光客等の参画



京都ビッグデータ活用プラットフォーム  
(オープンAPI・データ統合基盤)

※上記団体は参画予定



# 京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議の実績

第  
1  
回



平成30年11月9日（金）

民間企業：55企業100名  
大学等：2大学8名  
行政・研究機関：7団体9名  
事務局：13名  
**合計：64団体 130名**

第  
2  
回



平成30年12月26日（水）

民間企業：67企業102名  
大学等：4大学5名  
行政・研究機関：18団体33名  
事務局：20名  
**合計：89団体 160名**

第  
3  
回



平成31年3月4日（火）

民間企業：63企業93名  
大学等：3大学3名  
行政・研究機関：13団体27名  
事務局：16名  
**合計：79団体 139名**

# ご提供サービス

入会後は以下の6つのサービスをご提供します。

## ① 京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議への参加



産学公の多様なプレイヤーが集う京都ビッグデータ活用プラットフォーム会議を開催し、スマートシティやIoT、ビッグデータに関する最新の情報をご提供します。各WGの取組のアップデートや新たな取組を共有します（年4回実施予定）

## ② 課題別ワーキンググループへの参加



多様化する社会課題や企業のニーズに応じて、ワーキンググループを発足します。ワーキンググループごとに勉強会等を実施し、具体的な成果に繋がります（ex.スマートアグリWG、スマートモビリティWG、スマート観光WG等）

## ③ ビジネスマッチング支援



会員企業様の新規事業紹介・交流の場をご提供します。10月開催の京都スマートシティエキスポにて、京都ビッグデータ活用プラットフォームオープンパートナープログラムを開催し、個別WGの成果発表を行い、ビジネスマッチングを支援します

## ④ デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援



京都スマートシティ推進協議会が府域等に設置した10台のデジタルサイネージやスマートライト、LPWA等の公園スマート機器を活用した実証実験を支援します。その他、会員様が新たに実施したい実証実験の実現をお手伝いします

## ⑤ 補助金等獲得支援



会員企業様や各WGが実施するプロジェクトに対し、国や京都府等の補助金の獲得に向け、助言や担当部署の紹介、実証フィールドの提案等の申請サポートをします（※補助金獲得を約束するものではなく、あくまで審査は公平に行われます）

## ⑥ データ統合基盤の利用



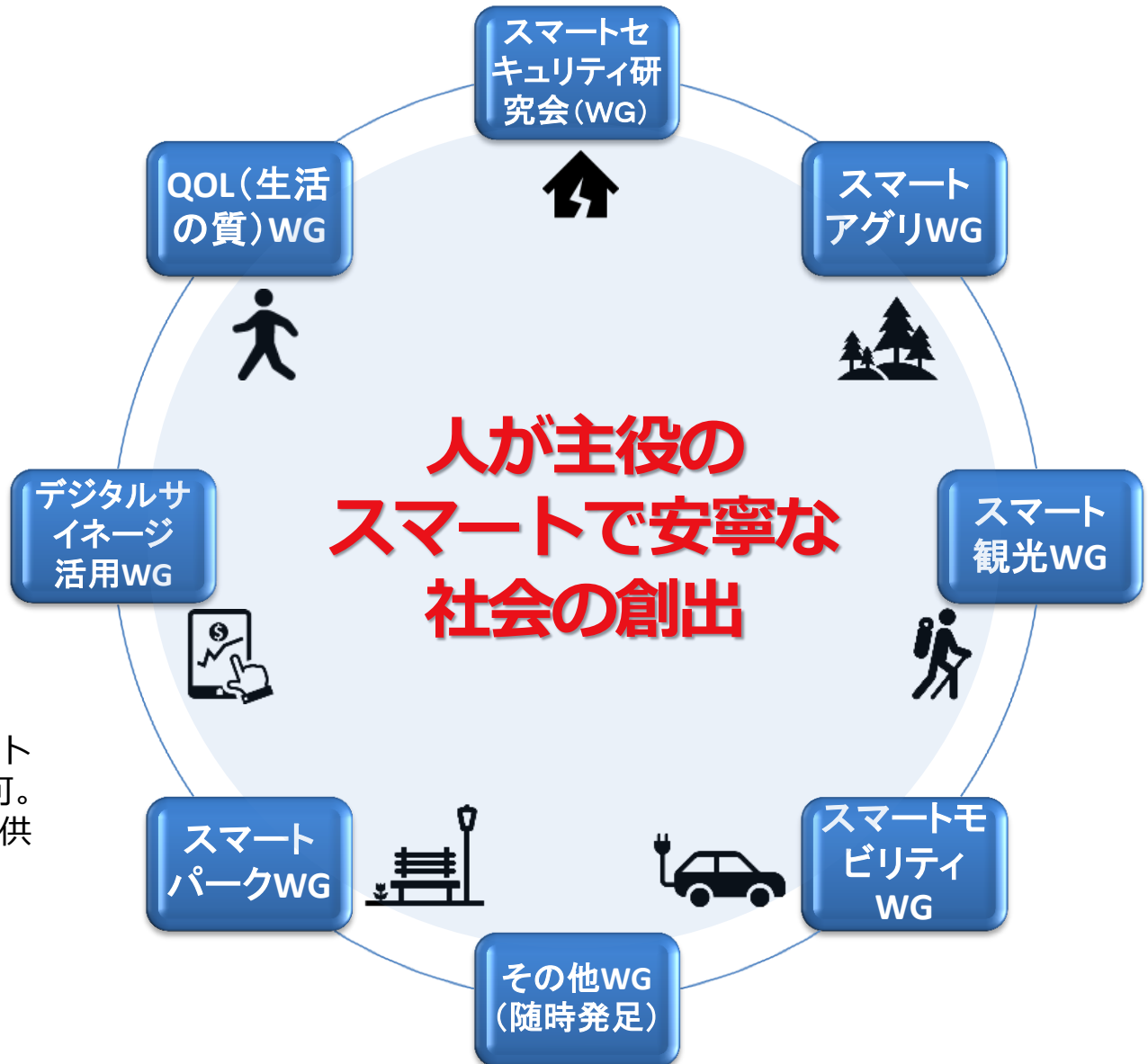
京都スマートシティ推進協議会が所有するデータ統合基盤をご利用できます。会員企業間のデータ連携の支援やデータ利用環境（アカウント発行・管理）を提供します。データ分析するためのBIツールを別途有料でご提供します

# 会費について

会員種別	年会費 (税抜)	対象者	便益
正会員（大企業）	20万円	中小企業の定義は、中小企業基本法第2条第1項の中小企業者の範囲に従う	1. 京都ビックデータ活用プラットフォーム会議への参加 2. 課題別ワーキンググループへの参加 3. ビジネスマッチング支援 4. 補助金等獲得支援 5. デジタルサイネージ等を活用した実証実験支援 6. データ統合基盤の利用 (※基本利用料無料。BIツール等をオプション利用する場合は別途有料) 7. サイネージ広告を会員割引 価格でご提供
正会員 (中小企業)	10万円		
正会員 (小規模企業者)	3万円		
内、 ベンチャー企業	1万円		
特別会員	なし	行政機関・公共団体・非営利団体等	

# 課題別ワーキンググループ設置

- 会員は興味関心のあるWGに参加可能（※複数可）
- WG内で様々なプロジェクトを立ち上げ可能
- 必要に応じて、実証実験や補助金獲得を支援
- 事業開発に向け、他企業や自治体、研究機関等とのアライアンス創出を支援
- 各WGの活動は、京都スマートシティエキスポ2019で報告可。ビジネスマッチング機会を提供





# ① デジタルサイネージ活用WG



## <目指すところ>

府域等に設置するデジタルサイネージを活用し、観光客の利便性向上や観光周遊を促進する。また、地域住民に暮らしを豊かにするツールとして認識され、人が集い、交流するシンボリックな媒体として、新たな価値を検討する。

### こんな課題を解決したい

- サイネージをもっと利用してほしい
- サイネージから得られるデータを使いたい
- サイネージで新しい技術やコンテンツを実証実験して、試してみたい

⋮

### 例えば、こんな取組を検討

- D-standプロジェクト  
→サイネージを有効活用し、人が集い、交流を生み出す空間をコーディネート  
(D-演奏、D-パフォーマンス、D-オープンキャンパス、D-体操、D-LINE等)
- サイネージ×ビーコン  
→サイネージとビーコン技術を連動させ、多様なデータ収集・分析及びマーケティングに活用
- サイネージ×タクシー/ホテル予約  
→サイネージに予約システムを組み込み、タクシー/ホテルの利用率アップ

⋮

## ②スマートアグリWG



### <目指すところ>

スマート農林水産業の実現を目指し、生産現場への先駆的なA I、I C T技術の導入による生産性及び品質・作業性の向上を図り、農林水産業の成長産業化を検討する。

### こんな課題を解決したい

- 過疎高齢化による生産現場（農林水産）の労働力不足を解消したい
- トリガイを安定的かつ効率的に養殖したい
- イノシシ等の鳥獣被害を減らしたい
- 宇治茶の生産性を向上したい

⋮

### 例えば、こんな取組を検討

- 中山間地の水稻栽培における自動運転トラクターや栽培経営管理システムの導入
- 万願寺トウガラシの収穫量を向上するため、環境自動制御システムや収穫用サーモグラフィを導入し、ハウスを低コスト化
- 茶園環境データ、新芽の生育データ等を蓄積・解析することにより、茶園管理・製茶ノウハウを可視化し、茶生産技術を向上

⋮

## ③スマートモビリティWG

### <目指すところ>

人口減少・高齢化が深刻化する中、地域住民に安心・安全・快適な交通環境を提供し、豊かで持続可能なモビリティ社会を実現するため、AIやICT等による新しいモビリティサービスを検討する。

#### こんな課題を解決したい

- けいはんな学研都市に多数立地する企業、研究施設間の移動をスムーズにしたい
- 過疎地域や高齢者の交通問題を解決したい
- 京都スタジアム（仮称）の竣工により、想定される交通渋滞や移動問題をなんとかしたい

⋮

#### 例えば、こんな取組を検討

- 高齢者等の社会参加を促し、次世代の実装となる自動運転等の実証を行い、スマートな暮らしを実現する、「学研都市型MaaS+」を推進
- 京都丹後鉄道沿線地域での地方郊外型MaaS事業におけるQRシステム導入実証
- 南山城村における村営バスの再編、自家用有償運送等の導入により交通網を整備する等、過疎地型MaaSを実証
- 京都スタジアムに訪れる2万人規模の来場者の心地よい移動サービスを検討

⋮

## ④スマート観光WG

### <目指すところ>

観光産業・サービス産業の活性化と高度化を図り、スマート観光のモデルづくりを目指すため、ICTによる観光客の利便性の向上や周遊観光促進、新たな視点からの観光マーケティング・商品開発等を検討する。

#### こんな課題を解決したい

- 一極に集中する観光客を分散させ、府域に周遊させたい
- 観光客の行動を分析し、お勧めの観光ルートや商品を提案したい
- まだ京都府に来ていないターゲット層の心を動かすマーケティングをしたい

⋮

#### 例えば、こんな取組を検討

- AR技術を活用した府域のスタンプラリー観光
- 地域商店街と連携し、キャッシュレス普及促進
- インバウンドにターゲットを絞り、旅行滞在データ（基地局）やSNSデータの分析から訴求スポット・モデルコースを提示

⋮

## ⑤スマートパークWG

### <目指すところ>

多様化する公園利用者のニーズに対応し、地域とつながる魅力ある公園の在り方を模索するとともに、公園管理者の負担を軽減するため、ICT等を活用したパークマネジメントや公共財の分散型管理を検討する。

#### こんな課題を解決したい

- 公園管理による職員の負担を軽減したい、管理業務を効率化したい
- 公園の資源（薪、木質ペレット）を有効活用し、エネルギー効率を上げたい
- 地域住民が公園を身近なものと感じ、人が交流する共通空間（パークマネジメント）を実現したい

⋮

#### 例えば、こんな取組を検討

- スマートライトによるLED化及び調光管理によるエネルギー消費量の削減
- ネットワーク防犯カメラ（人流解析）により、公園の安心・安全を実現
- LPWAを活用した園内案内ロボットの導入

⋮

## ⑥ QOL（生活の質）WG

### <目指すところ>

超高齢化社会や生き方の多様化が加速する中、人々にとって安寧で心豊かな暮らしの実現を目指し、医療・介護・福祉・働く環境等において、柔軟な視点で新しい事業やサービスの開発を検討する。

#### こんな課題を解決したい

- すべての高齢者にとって、自分らしく過ごせる心豊かなまちを作りたい
- 乳幼児期のアレルギーマーチを止めたい
- ストレスフルな職場環境を改善し、誰もがイキイキ働ける職場にしたい
- 聴覚障害のある方のコミュニケーションの課題を解消し、豊かな暮らしを実現したい

⋮

#### 例えば、こんな取組を検討

- 持続可能で心豊かな新しい地域包括ケアシステムの事業開発
- スキンケア化粧品を用いたアレルギーゼロプロジェクト
- 中小企業の職場環境を改善し、職場へのエンゲージメントを高める「キモチ×カラダ×データヘルスプロジェクト」
- デジタルサイネージを活用した遠隔手話通訳

⋮

# 今後のスケジュールについて

<2019年7月8日>

第4回KBDP会議

(WG説明、今後の進  
め方共有)

<2019年10月3日or4日>

京都スマートシティエキスポ  
2019KBDPオープンパート  
ナープログラム

<2019年3月>

第7回KBDP会議

(成果報告等)

<2019年9月>

第5回KBDP会議

<2019年12月>

第6回KBDP会議

WG活動

WG  
アンケート  
期限  
(7月22日)

WG活動実施(7月~3月)

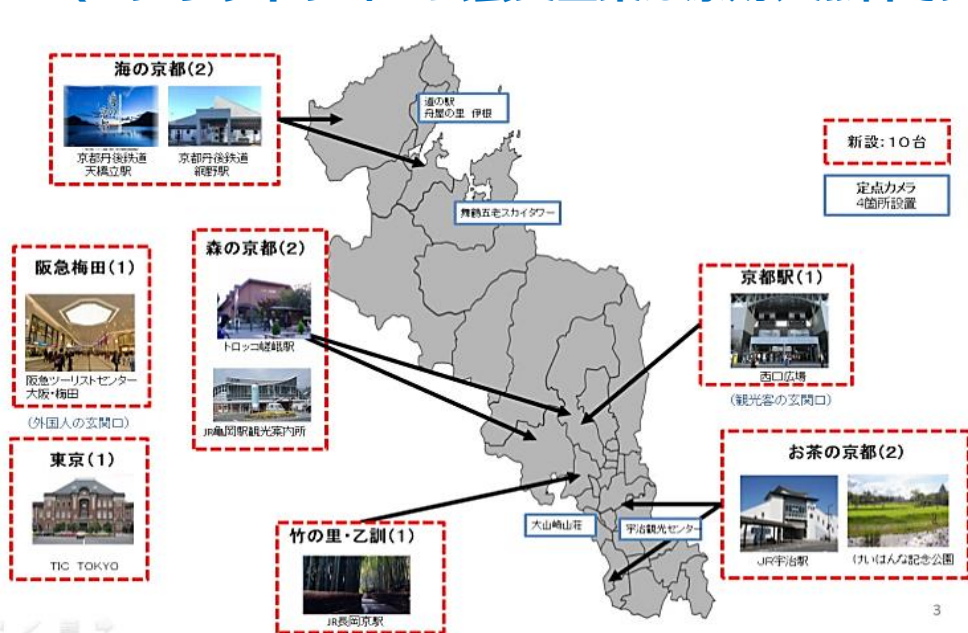
適宜、他WGへの参加も可能  
(随時エントリー)

# (参考1) 京都府パブリックデジタルサイネージ

京都府の主要な観光玄関口や交通結節点にデジタルサイネージを10台設置。スマホやSNS等と連携した次世代のインタラクティブサイネージ。一人一人のニーズに合わせた観光情報の提供により、国内外の観光客の利便性向上と周遊観光を促進。

**→サイネージを活用した様々な実証実験の実施やビジネス創出を支援します。**

**(※プラットフォーム会員企業は原則、無料で実証実験ができます)**



基本コンテンツ	
動画放映	サイネージ上部の動画領域が自動ロール。動画のオーバーレイも可能。
時刻表	設置各所の交通各社(電車、バス等)の時刻表を掲載。
京都の体験	MBS様のWebサービス「京都知新」から京都の工芸体験等の予約ができる体験知新を掲載。サイネージ上から体験を選択しスマートフォンから予約が可能。
イベント情報	設置各所周辺のイベント情報をカレンダー形式で掲載。
周辺地図	Google Map を使用した周辺地図を表示。行きたい場所へのルート表示機能もあり、スマートフォン にダウンロードが可能。
天気情報(災害情報)	京都危機管理Web の情報をリアルタイムで配信。京都府内の天気や注意・警報も表示。緊急時にはオーバーレイテロップで緊急情報も配信。
コンシェルジュ	タッチするとサイネージ上部の動画領域に日・英・中 3 言語対応可能なコンシェルジュコールセンターに繋がる。
サイネージ利用方法	サイネージ自体の利用方法のガイドを掲載。
SNS情報(Localive!)	Spectee 社が提供するSNS から画像を取得する Localive! サービスを表示。嵐山、大寨、北野線沿線、かぶきの里、伊根の舟屋、JR宇治駅、石清水八幡宮、阪急長岡天神駅、天橋立、伏見稲荷、福知山城の10箇所エリア周辺のSNS情報を表示。
リアルタイム映像配信	サイネージ上部の動画領域をリアルタイム 映像に切替可能。

## <サイネージから取得できるデータ>

- タッチデータ (利用頻度、コンテンツの嗜好データ)
- 人流解析カメラによる属性データ (性別、年代)
- Wi-Fi利用データ (滞留データ)

## 実証イメージ

- ホテル・タクシー配車予約の検討
- キャッシュレスと組み合わせたクーポン発行の検討 等



# (参考2) 公園スマート化機器

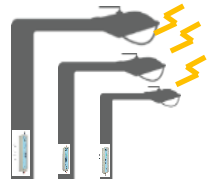
京都府精華町のけいはんな記念公園等にスマートライトや環境センサー、LPWAを設置。エネルギー消費や温度・湿度等の環境データを収集。また、ネットワーク防犯カメラを設置し、映像による人流データの解析からトラブル発生 of 早期検知等を検証し、スマート公園化を目指す。**→公園をフィールドに様々な実証実験の実施やビジネス創出を支援します。**

京都府精華町けいはんな記念公園



## <スマートライト>

街灯に内蔵の機器で遠隔からコントロールし、消費電力データを収集。遠隔での点灯時間、照度変更、調光による最適かつ効率的な照明環境を実現



## <環境センサ (LPWA付)>

温度、湿度、気圧、CO2、NO2、SO2、O3、粒子状物質の環境データをセンサーで取得



## <ネットワーク防犯カメラ>

映像から転倒や接触等のトラブルを検知。カメラ映像から公園利用者数を把握。曜日、時間帯や天候状況別の人流データを測定



## <公園スマート化機器から取得できるデータ>

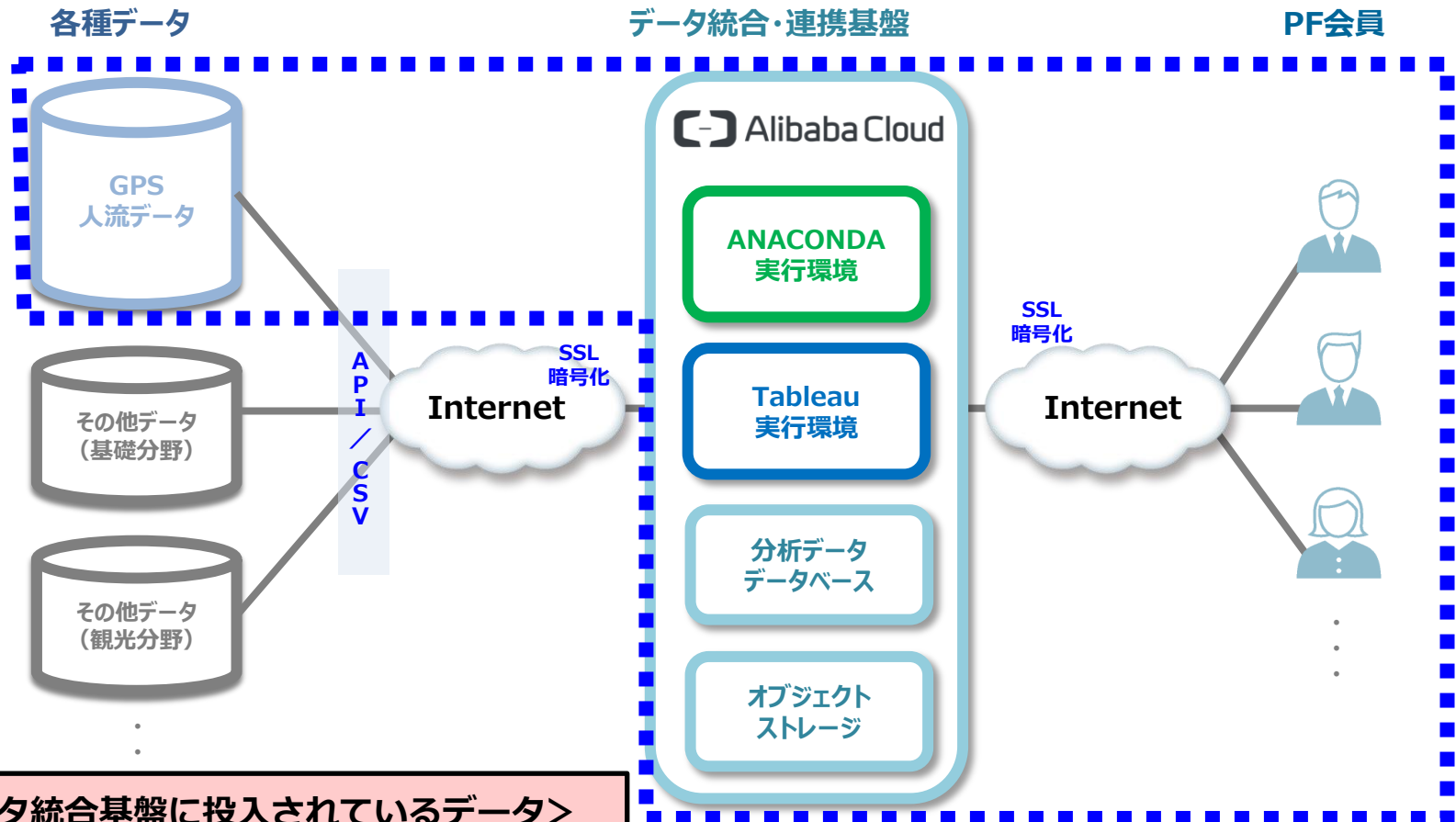
- 街灯の消費電力データ
- 環境データ (温度、湿度、気圧、CO2、NO2、SO2、O3、粒子状物質)
- 人流データ

## 実証イメージ

- LPWAを活用したスマートゴミ箱の検討
- 人流解析カメラを活用したライトの適正照度の検討等

# (参考3) データ統合連携基盤のイメージ

会員企業様にデータ利用環境をご提供します。データ利用環境は、クラウド上でPythonを利用できる環境（Anaconda）をご提供します。データ分析ツール（tableau）は別途有料でご利用できます。データアライアンスを組んだ企業同士のデータをプラットフォーム上で管理し、企業間のデータの相互活用をサポートします。



<データ統合基盤に投入されているデータ>  
○京都府内の人流データ (GPS×アプリデータ)

# (参考4) スマートけいはんなプロジェクト

○ **MaaSから始まるスマートシティ** 交通利便性の向上となるMaaSはスマートシティの土台。当地区での実証試験を次々と実装し、世界に先駆け未来の暮らしのモデル、新たなライフスタイル（スマートな暮らし）を提供。これを『**学研都市型MaaS+（プラス）**』と呼ぶ。

## ■ 対象区域のビジョン

- ・世界の未来像を提示する
- ・科学技術のイノベーションの創造拠点となる
- ・科学技術と生活・文化が融合した未来社会を先導
- ・安全・安心で高質な都市環境を備える

## ■ 対象区域の課題

- ・研究機関、企業のオープンイノベーション環境が生じている中で、施設間の移動手段の拡充により、新たな産業・創発を促す
- ・高齢化する地域社会への対応
- ・SDGsを踏まえた持続可能な都市づくり
- ・安心・安全な都市の形成

## ■ モデル事業の取組み内容

【統合プラットフォーム】学研都市型MaaS

- ①ラストワンマイルモビリティの導入
- ②移動コワーキング環境の整備
- ③地域活動のサポート
- ④AIデバイスを活用したコミュニティサービス

【MaaSの進化】学研都市型MaaS+（プラス）

高齢者等の社会参加を促し、次世代の実装となる自動運転等の実証を行い、スマートな暮らしを築く

